

私学助成署名中間集約 全国で約10万筆に到達！ 青森13000筆、宮城4961筆、大阪3455筆

私学助成署名の中間集約の報告が全国から続々と届いています。上記のほかにも香川、熊本から報告があり、茨城では県向け署名8227筆を集約し提出の準備に入っています。全国では約10万筆の到達となっています。

10月末報告は11月5日までです。また、11月は14日(月)、28日(月)の2回の中間集約を予定しています。それぞれの節目での集約結果を必ずお知らせください。



茨城「私学のつどい」にて

9月末学費滞納調査

全国の運動が世論を動かす！

全国で300校超を集約 11/11(金)最終締め切り

9月末時点の「経済的理由による中退・学費滞納調査」は11月2日(水)時点で32都道府県305校が提出しています。既報の東京、宮城、長野に続いて、兵庫からもここ数年の最高校数を上回る学校から調査結果が届いています。

先の全国中央執行委員会で11月11日までに締め切り延長を決定しました。あと1週間少しのとりくみとなりますが、まだ提出していない単組に声をかけ、1校でも多くの集約をめざしましょう。

この調査結果の分析に基づいて、11月末には文科省記者発表を予定しています。また、分析結果はホームページにアップし、一般に公開します。

2023私学春闘アンケート 配布・回収を急ごう

2023私学春闘アンケートのとりくみが進んでいます。目標は全国で3000人分の集約。昨年度は約140学園2400人分を集約しました。提出期限は12月2日(金)必着です。

まだ配っていない県は大至急配布しましょう。配布が済んでいる県は、必ず各学園に声をかけてもれなく集めきりましょう。回収した調査票は束ねて全国私教連に郵送してください。集計表の提出ではなく、記入した調査票そのものの提出ですので、ご注意ください。

秋季闘争「専任増」統一要求 11/25までに提出・交渉を

第52回中央委員会において、「専任増」統一要求にとりくむ秋季闘争の方針を決定しました。この方針に基づいて、すでに春闘で統一要求にとりくんだ愛知私教連のほか、宮城、新潟、大分、熊本で「専任増」要求書を提出した単組があるとの報告がありました。また、香川では常勤講師の専任化を交渉中の単組が複数あります。

「専任増」要求書の提出を全国で展開すること、そして、交渉の中で即時の実現が難しいとなったとしても、「それならせめて私学助成署名を増やして国や県に経常費助成の拡充を訴えていくために署名の学内配布を認めよ」と交渉することが重要です。専任増が教育労働条件の改善につながると捉えれば、理事会との共同の可能性も開けてくるでしょう。

10月30日の中央執行委員会で「11月25日までにすべての単組で要求書提出をめざす」ということを確認しました。私学助成署名運動と連結した総合的な運動の展開を全国で追求していきましょう。